

# 和・いわい

## 年頭所感

岩手県立磐井病院長 加藤 博孝



新年あけましておめでとうございます。

先日、本の整理をしていたら 30 年前の 1983 年に日野原先生が書かれたオスラー博士の講演集である「平静の心」という本が出てきました。この本自体も有名な素晴らしい本なのですが、この本のカバーの広告に「フィリップ・A・タマルティ著、日野原重明『よき臨床医をめざして、全人的アプローチ』」と書かれているのが目にとまり、解説を読みました。本の説明には『「病気」ではなく、「病気をもった人間」をみる。医師・患者や家族と適切にコミュニケーションできる臨床医になるために、どのような方法を用い、どのような言動や配慮をもって患者に接するべきかを多年の経験と知識を通して書かれたもの。実地医家・教育者・医学生・看護婦に至るまで、あらゆる「医」に携わる人々の必読書』と書かれていました。最近になり医療におけるコミュニケーションの重要性、とりわけ患者・家族との医療者のコミュニケーションのみでなく医療者間のコミュニケーションの重要性がいわれておりますが、すでに 30 年前に医師・患者や家族と適切にコミュニケーションできる臨床医について書かれた英文の総説があり、さらに日本語訳があったことに感銘を受けました。

私が院長となった 2012 年 4 月に病院理念を「安心・安全・安寧」から「地域の皆様に納得できる医療を提供します」と変更しました。これは NBM（患者さんのナラティブ。日本語で言えば患者さんの物語、希望や背景を尊重するとうこと）を強く意識したものです。行動指針としては、

- ① 患者さんの希望や背景を尊重
- ② 患者さんの個人情報を守る
- ③ 患者さんの安全に配慮し診療に全力を尽くす
- ④ 地域における病診・病病連携

の 4 項目を中心に職員とともに邁進する所存ですので、今年も当院をよろしく願いたします。

馬の字が逆に書いてあるところから「うま」の逆は「まう（舞）」であり、古来、舞はめでたい席で催されることから、縁起の良い招福の駒とされています。また、左馬という字の下の部分が財布のきんちゃくの形をしており、口が良く締まって、入った金が散逸しないことから、富のシンボルとしての意味があります。

## 本号のなかみ

1. 年頭所感 院長より
2. 進路選択セミナー・どこでも医療講座
3. セカンドオピニオン・患者さんの権利と責務について
4. 外来診療のご案内

岩手県立磐井病院

〒029-0192

岩手県一関市狐禅寺字大平 17

URL: <http://www.iwai-hp.com/>

<http://www.facebook.com/iwaihp>

# 地域医療の担い手を目指して

## 進路選択セミナー

磐井病院では中学生、高校生の病院見学等を受入れています。

11月30日（土）には、県立一関第一高校附属中学校の生徒、保護者併せて100名ほどが参加しての進路選択セミナーが開催されました。

医師や看護師だけでなく、磐井病院で働く10の職種の職員が、それぞれの仕事についての紹介をしました。

その後、実際に病院の中を見学して廻ったのち、興味のある職種ごとにグループをつくり、職員を交えての質疑応答となりました。

その仕事に就くための進路の取り方やアドバイス、実際に仕事に就いてみての苦労や喜び、様々なことについて活発に意見交換がなされていました。

中学生では将来の目標は漠然としたものである時期ですが、附属中学校の生徒の皆さんは具体的に将来を考え始めており、今回のセミナーで医療を志す人が一人でも増えればと願っています。



院長の講義



検査室の見学

## 「どこでも」お話をしに伺います

### どこでも医療講座のご紹介

磐井病院では今回新たな取り組みとして、『どこでも医療講座』を開始しましたのでお知らせいたします。『どこでも医療講座』とは、地域の方々の希望に応じて、当院の担当職員を地域で開催する講演会の講師として派遣し、講座を開催するものです。

講座をとおして、皆さんにご自身の健康や医療のことをより多く知っていただくとともに、地域との交流を深めていきたいと考えています。

#### 開催内容等

##### (1) 対象地域

一関市及び平泉町全域

##### (2) 講演内容について

- ・演題はあらかじめ当院で用意しております。例：「おくすりの正しい使い方」「緩和ケアのススメ」など 詳しくはホームページをご覧ください。
- ・講演時間は全体で1時間程度とし、演題1題の時間は20分から30分程度とさせていただきます。
- ・1回の講演での演題は2題までとさせていただきます。2題のご希望がある場合でも講師日程の調整が出来ない場合には、1題とさせていただきます場合もございますのでご了承ください。

##### (3) 講演にかかる費用について

- ・講師料・派遣料は無料です。（旅費や謝礼等はいただいておりません）
- ・会場の手配や会場の借り上げにかかる費用は、依頼者側の負担でお願いします。

##### (4) お申し込みの流れ

お申し込みの詳細は、当院ホームページをご覧ください。<http://www.iwai-hp.com/renkeipass.php>

お問い合わせ先：0191-23-3452 地域医療福祉連携室まで



# セカンドオピニオンってなに？

## ■セカンドオピニオンとは？

セカンドオピニオンとは、今かかっている病気のことや、その治療法について、十分に納得していただくために、主治医とは別の医師の意見を聞いて参考にすることです。

## ■どんなときにしたらいいの？

★担当医に、診断や治療方針の説明を受けたが、どうしたらいいか悩んでいるとき

★いくつかの治療方針を提示されているが迷っているとき

このような場合に、ご自身で納得して治療を選択し受けるために、他の医師の意見も聞いてみるという方法がセカンドオピニオンです。

## ■どうしたらいいの？

まずは主治医にセカンドオピニオンを行いたい旨を相談してみましょう。

セカンドオピニオンに必要な書類や予約の有無は病院によって異なることが多いですが、基本的には主治医からの紹介状や検査結果や放射線画像が必要となることが多くあります。これは、患者さんの病気の状況やこれまでの治療経過によって今後の治療も異なることが考えられるためです。



## ■セカンドオピニオンを受ける効果って何？

★現在の担当医の診断や方針に対する確認ができます。

★診断や治療の妥当性を再確認することで、納得して治療を受けることができます。

## 患者さんの権利と責務について

「当院は、納得のできる医療の提供を目指すという理念のもと」、患者さんと病院がお互いに信頼し、手をとりあって皆さんの健康を守っていきたくと考えています。

そのために病院から皆さんに、病院にかかるうえでのお願いがありますのでご紹介します。

### 患者さんの責務

1. 正確な情報を提供するとともに、疾病や医療を十分理解する責務
2. 医療に積極的に取り組む責務
3. 快適な医療環境づくりに協力する責務
4. 社会的ルールを守る責務

### 患者さんの権利

1. 個人として尊重され、良質な医療を公平に受ける権利
2. 十分な説明と情報提供を受ける権利
3. 自らの意思で選択・決定する権利
4. 個人情報やプライバシーを保護される権利

### 病院からのお願い

1. 敷地内全面禁煙にご協力ください
2. 将来の医療を担う医療従事者の教育にご協力ください
3. 暴力・暴言・迷惑行為はおやめください

# 外来予定表

受診予約はお電話で 0191-23-3453 まで（平日 9 時から 17 時）

診療科	ブロック		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	月内スケジュール
消化器科	B	午前	○	○	○	○	○	
糖尿病外来	B	午前		○		○		
心療内科	B	午後				○		
循環器科	C	午前	○	○	○	○	○	
ペースメーカー外来	C	午後			○			
呼吸器科	C	午前					○	
	C	午後		○	○			第 1.3 水曜日のみ
神経内科	C	午前	○	○	○	○	○	
外科	B	午前	○	○	○	○	○	
化学療法外来	B	午前	○	○	○	○	○	
	B	午後	○	○	○	○	○	
ストーマ外来	B	午後	○	○		○		1 火；3 月；2.4 木曜日
乳腺外来	B	午後		○		○		第 1 木曜と第 3 火曜
小児外科	B	午後		○				第 2.4 火曜日のみ
緩和医療科	C	午前	○	○	○	○	○	
画像診断科	C	午前	○	○	○	○		
放射線治療科		午前				○		
		午後		○				
産婦人科	E	午前	○		○	○	○	
妊婦検診	E	午前	○	○	○	○	○	
小児科	A	午前	○	○		○	○	
新生児外来	A	午前			○			
	A	午後	○		○		○	
慢性外来（小児）	A	午後		○			○	
予防接種（小児）	A	午後	○					
乳児検診	A	午前			○			
1 ヶ月検診	A	午後			○			
慢性心臓疾患	A	午後					○	第 1 金曜日
慢性血液疾患	A	午後			○			第 4 水曜日
慢性腎臓疾患	A	午前				○		第 2 木曜日
慢性神経疾患	A	午前					○	第 2 金曜日
慢性消化器・アレルギー疾患	A	午後			○			第 3 水曜日
皮膚科	C	午前	○	○	○	○	○	
皮膚科学生外来	C	午後				○		小中高
泌尿器科	D	午前	○	○		○	○	
整形外科	D	午前	○	○		○	○	
脊椎外来	D	午前					○	第 1.3 金曜日のみ
形成外科	D	午前	○	○	○		○	
脳神経外科	D	午前	○	○	○	○	○	
てんかん外来	D	午後					○	第 2 金曜日のみ
眼科	休診							
耳鼻咽喉科	C	午後	○	○		○	○	
歯科口腔外科		午前			○	○	○	
		午後	○	○	○	○	○	

## 編集後記

希望に満ちた瞳は問う。「この仕事の『やりがい』ってなんでしょうか？」

十一月末に開催した進路選択セミナーでは、中学生とは思えないほどの医療職になるという意気込みが伝わってきた。自身の経験と重ねてもこれほどの志はなかったと記憶する。

我々の頃は、まわりの限られた大人たちの仕事やテレビからの情報を頼りに、漠然としか描けなかった将来の姿が、最近は職場体験や今回の様な進路セミナーなどにより、具体的な職業のイメージや実現のためのステップが描けるようになってきているのではないだろうか。

生徒さんたちには将来の仕事について、よく考えて欲しいと思う。自分の職業と人生の目的は同一ではないが、ベクトルの向く先は同じはずである。

その結果、十年後において我々と共に医療の仕事をしてもらえるのであれば、これに勝る喜びはない。その時にいても、彼らが今抱いているであろう「あこがれ」を失わせることのないような病院にしていく責任を新たに感じる今日この頃である。(K. Y)